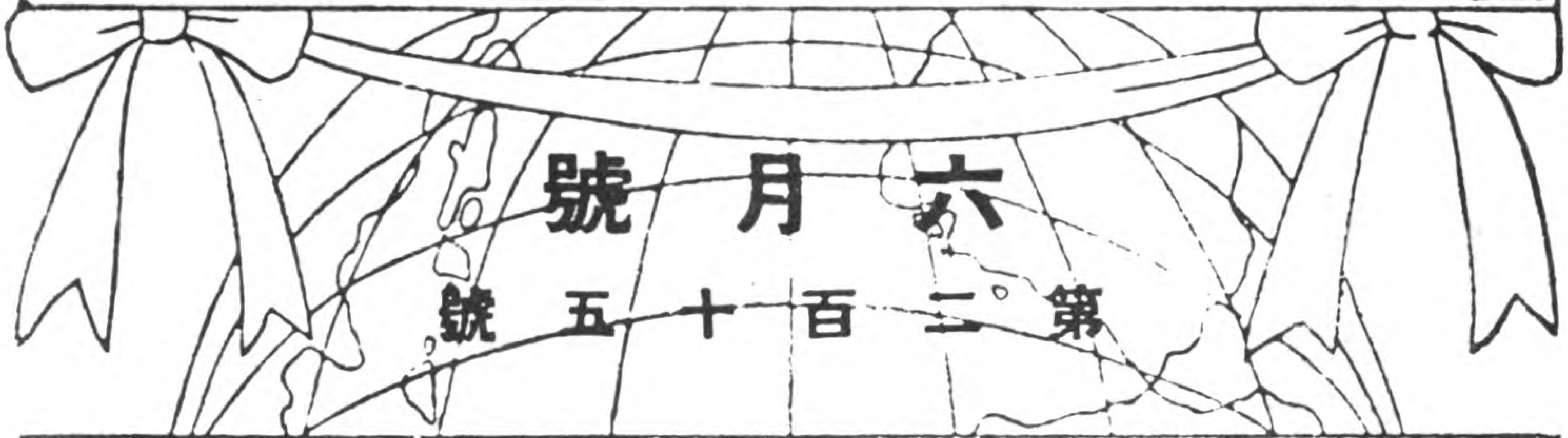
大正四年五月廿八日發行（毎月一回二十八日發行）

婦人新報



六月號

第二百十五號

婦人新報第二百十五號目次

奮闘の歴史は長し　矢島楫子
矢島會頭の光榮　一記者
大會餘錄　藤井かう子
獻身　金森通倫
兒童の生活　高島平三郎
家事と傳道　加藤さき子
雨具と寢具の改良　葛陸すう子
或る日の夕餐　木村熊井子
各地通信
本部、麴町、小石川、神戸、下ノ關、京都、同志社青年部、フレンド青年部
編輯室より　エー、エム、
英文　杉本鉚子

基督教婦人矯風會

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

產婦人科
小兒科
女醫 鷲山改め 吉岡彌生
△院長診療 宅診午前 往診午後
△醫員診察 午後
產室及病室の設けあり隨時入院の需めに應ず
東京市麴町區飯田町
四丁目三十一番地
東京至誠病院
電話番町二二五七番

社告

◎婦人新報定價(郵税共)
一部(前金) 金六錢
六部(前金) 金三十五錢
十二部(前金) 金七十錢
(郵券代用一割増)
◎廣告料
一行(五號活字) 金十錢
編輯及事務所 赤坂區溜池町三番地 婦人矯風會事務所 電話新橋一〇三六

大正四年五月廿六日印刷
大正四年五月廿八日發行
發行兼印刷人 矢島楫
編輯人 高原孝
發行所 東京赤坂區溜池町三番地 婦人矯風會事務所 婦人新報社
印刷所 東京神田鎌倉河岸 丸利印刷所

No. 215. JUNE, 1915.

WOMAN'S HERALD.

CONTENTS.

Our Campaign. Madam Yajima.
A New Honor to our President. A Contributor.
Aftermath of the Convention. Mrs. Ko Fujii.
Sacrifice. Mr. T. Kanamori
Life of a Child. Prof. H. Takashima.
Domestic and Evangelistic Work. Mrs. Saki Kato.
Reforms in Bedding and Rainy-day Clothing. Miss S. Kuzukage.
A Certain Supper. Mrs. K. Kimura.
Repports;— Headquarters. Kojimachi. Koishikawa. Kobe. Shimonoseki. Kyoto. Doshisha Y. Friends Y.
Message from the Editorial Room.
English Department;—
Work for the Approaching Coronation.
Current Items. Mrs. Etsu Sugimoto.

FUJIN SHIMPO OFFICE.
No. 3, Tameikemachi, Akasaka, Tokyo.

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

奮闘の歴史は長し

矢島楫子

△英國婦人平和運動を企つ

最近の倫敦通信に英國の婦人は開戰以來、寢食を忘れて國家の援助をしましたが、今回更らに一歩を進めて、和蘭海牙の平和會堂で、獨逸の婦人と會合し五月中三日に亙つて平和會議を開くとの事で、既に同志婦人は一千餘名に達し、會議には八十一名の委員が出席するさうです。これに就き過般讀賣新聞から私の意見を問はれましたので、若し事實とすれば眞實に嬉しい事で、婦人の使命を能ふだけ果さうと云ふ考へから、參政權運動までする英國婦人にとつては實に當然の事でありますと申したことでした。一方血肉を賭して相當の權利を得る爲めに戰つて居る英國婦人が、一方で平和運動をするといふのは、ちと矛盾して居るやうにも見えますが、決してさうではなく、人道の上から見て一貫して勇奮して居る精神は明らかに窺はれます。

△父母は學校を動かせ

かやうな機會に我が國の男女に拘らず頭を開拓したいものです。教育の狀態を見ても、子女を學校の先生に一任して顧ないで居ります。然しもし父なり母なりが世界の大勢に後れぬ國民を作らうと思はゞ、却つて常に學校の先生を動かして行かなければならぬ事が澤山にあります。田舍などに行くと學校の先生と云へば極めて狹苦しい考へを持つて居る者か、然らざればただ資格があるといふのみで嫁入前のツンツルテンの人

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

が多いので、次代の國民を如何にして立派に育てやうかといふ深い考へなどは餘り持つて居らないのであります。それ故虚榮は惡いとか、質素でなければならぬとか、やかましい事を申しながら、自身等の集會には常に酒が出で、暴飮の結果は、遂にをもしろからぬ結果にも陷ることが珍らしくはありません。殊に女の子の教育などは多くは固陋で、政治の事を聞かしてはならぬとか、そんな議論めいたものを讀ましてはならないとか申して、隨分盲目に作り上げやうとして居ります。これを見て母たる者が只有難く先生や校長のお說に從つて終うやうでは仕方がありません。父兄會や懇談會の折には出來る丈け出席して、もし學校が時勢後れの主義を採つて居るやうならばこれを動かして行くことが、今日の母の務めであらうと思はれます。

△わが會の御大典記念運動

風俗といふものは、一時に容易く出來るものではなく、極めて大きいもので、徐々に改善して參らねばならぬことであります。我が矯風會にて、過る四月京都に催された第卅三回大會の決議にある、今秋御卽位式の大典を擧行さるゝに際し、公會の席上に醜業婦を侍せしめざる事、其の他凡て風俗を紊亂する行動の取締を嚴重にせられん事を其の筋に請願する事、なほ第二に精神的記念運動として、今後滿六年を期し、公娼全廢を議會に請願する事等は今日突發したる意見では無くして、過る三十年來本會が必死の努力を以て奮鬪し來りしその主義を、會まかゝる機會を捉へて一層有効に其の働らきを現はさんとしたるに過ぎないのであります。

△慈愛館と一夫一婦の請願

公娼廢止の如きは社會の大問題であつて、一朝一夕に行はれ難いやうに思つて居る人もありますが、實際は今日既に落日のやうな姿になつて居るので、何れ自滅するには違ひないものであります。文明開化の世の中に、大びらに人身賣買が許されるといふ事は實に矛

盾した話であります。また年々に公娼廢止の輿論の劇しくなつて行くのも事實であります。然しその時機を早からしむる爲めに、我れ我れは折に觸れ、事につけて、適當の働らきを怠つてはならぬと思ひます。然しさやうな魔窟を破壞した丈けで、後とは野となれ山となれといふのではなく、操の何たるかも辨へぬ可憐な女等を救つて、眞人間に歸してやらうといふのが望みでございます。その爲めには廿四五年前から慈愛館を設けて、たとへ微々たるものにもせよ、かやうな婦人もなほ救はるゝものであることを試みて居り、どうか世間にもかやうの事業の益々起らんことを願つて居ります。更らに公娼廢止も風俗改良もかゝつてこの一事にありといふ一夫一婦の請願に就ては、もはや三十年來毎年議會に請願書を提出して居ります。年々これに贊同する人々の數は增しても、なほ通過の機運には至りませんが、屈せず撓まず貫徹せずんば止まぬ覺悟を以て、今後も、この爲めに努力しやうと思ふのであります。

△新聞雜誌記者諸氏の同情

かやうに本會が社會改善に就て主義を持するや堅くこれを實地に試むるやその歷史は實に長いのでありますが、如何にせん社會の一隅から、微弱なる婦人の團體が叫ぶのでありますから、折角の志も社會全般に行き亙らぬ恨みがありました。これには社會に大なる勢力ある新聞雜誌記者諸氏の助力を須つのが、最も必要と思ひましたので、過る十五日矯風會本部に各社の社會部長及び婦人記者をお招きしました處、幸にも打ち揃つて集まつて下すつたので、本會の主義を語り終りに今後の助力を何れも快諾されました事は、誠に感謝の外はございません。時は既に到つて居ります。「收穫は多く工人は少し」といふ嘆きなきやうに、わが同志はこの際一層の奮勵を促したいものでございます。

矢島會頭の光榮

一記者

今回萬國基督教婦人矯風會に於ては、我が矢島楫子刀自の誕生日四月二十四日を以て「日本の日」と名づけ、年中行事の中に加へて、其の日を特に記念する事となりました。日本人にして世界の人に其の誕生日を祝賀さるゝのは刀自を以て初めとしますのは、單に刀自の名譽許りでなく、日本基督教婦人矯風會の光榮であり、延いては日本婦人否日本の光榮であります。萬國矯風會で從來年中行事として行はれて居たものは、創立者なる故ウヰラード孃の記念日を初めとして、十字軍記念花の日等でありましたが、今年より新らたに「日本の日」を迎へるにつき、米國イリノイス州、エバンスンの本部に於ては特に少年禁酒軍に面白い催しを致させました。其の式の模樣はと云ふに、全然日本風にして、司會者の聖書朗讀（列王紀略下五章一節より十四節）祈禱に次で、少年部長は矢島楫子刀自の小傳を讀み聞かせし後に、日本の少年新報中にある「禁酒桃太郎」の英譯されたるものや、「日本の子供」等の諳誦あり、なほ少年少女達が可憐な聲を張り上げて歌ふ歌は、何れも皆日本の爲めの祝福であつたさうです。なほ米國本部よりはその記念日の獻金二百五圓を最近の便にて、刀自のもとに寄贈され、何にても矯風會の爲め自由に使つてくれと申越されたさうです。過る三十年來日本の矯風事業に渾身の熱誠を傾けて盡瘁せられ、今日八十二歲の高齡を以て、なほ昔のモーセの如く、片時もその祈りの手を下げられずして、若き同志を率ゐ、日本社會の改善を促して居られる事が、世界の認むる所となつたのは、誠に喜ばしき限りでございます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

大會餘錄

藤井かう子

△京都婦人矯風會は今秋の御大典に先だち、京都の地を清むるの必要ありとて、特に本年の大會を彼の地に引受られました。會員の熱誠によりて準備の金も相當に整ひ、各支部よりの代員も本年は數に於て又精神の上に非常の進歩を見たるを感謝して止みません。

△大隈伯の祝辭を冒頭に大森京都府知事及夫人の臨席せられた事、市長並に教育家の祝辭、日曜學校協會、青年會、女子青年會、共勵會等の團體より祝電を受けました事は、何となく會が成長して參つた事が想像せずには居られませんでした。

△日本全國の支部は北は北海道より西は九州迄都合五十個所で、外に青年部が約二十個所少年禁酒軍約五十個所あります。何れも皆能く活動して居られますが、本部から不絕各地方に巡廻して主義を明かにし、奬勵を與へますれば、どんなに進歩するでせうと、之迄その實行の出來なかつたのを遺憾に思ひます。

△大會で編成しました決議文については、之を鄭重に印刷して大隈伯の祝辭をも添へ、各支部に廻す樣に着手して居ります。

△大會で議決になつた事は左の通りです。

一、義務金と大會費を合併して單に義務金の名義の下に每年一人分拾五錢を本部に納入する事。

二、杉本、守屋兩氏の働に對し萬國本部へ大會より謝狀を出す事、及びデビス孃の御婚禮に對し賀狀を出す事。

三、本部事務所維持費のために每月一人一錢宛負擔の件は、各支部にて出來得る丈を支出する事。

四、大會は杉本鉄子氏を外國通信書記として承認する事。

五、本多副會頭に御病氣見舞を大會よりさし上る事

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

を可決し集金貳拾圓を贈呈す。

六、御即位式に對して決議案を作る事、大會より之を京都府知事、市長及警察署に傳達する事。

△來年の大會は横濱支部にて引受らるゝ事。その理由は來年は日曜學校大會開催の年なれば東京に入る門戸なる横濱の地に矯風の主義を皷吹したしとて。

△緊急問題　矢島會頭が長年敎育せられました女子學院の同窓生より謝恩の爲とて金二千圓を贈られました會頭はその全部を矯風會に捧げられましたにつき、本會は之を事務所の基となるべきものに使用するは當然の事と決しまして、遂に敷地を購入する事になりました。さすれば建築費はすでにミス、デビス及孃の御兩親が先年來より集められた五千圓を寄附さるゝ事になつて居ります。それ故會頭より御寄附の二千圓を基として出來得る丈の金を集める事になりました。會員諸姉の御盡力を願ひます。

△賞旗を得られた支部は在日本西洋婦人矯風會で、少年部では中央少年禁酒軍です。賞金は京都、神田、神戸青年部、大阪博愛少年部と若松新興會少年部でした。

△本年より來年迄に私共の最も力を注ぎたいと存じますのは各課の働を成長させる事でございます。只會員の數ばかりを望みましても課の實行が伴はなければ、會の主義を擴める事はむづかしいと存じます。而して各課長は不殘大會に出席なさつて、各自の成功を期待される樣に願ひたいものです。

惡をなすものゝ故をもて心をなやめ、不義をおこなふ者にむかひて嫉をおこすなかれ。かれらはやがて草のごとく刈りとられ、青菜の打萎るべければなり。ヱホバによりたのみて善をおこなへ。この國にとゞまり眞實をもて糧とせよ。ヱホバによりて歡喜をなせ、ヱホバはなんぢが心のねがひを汝にあたへたまはん。汝の途をヱホバにゆだねよ、彼によりたのまば之をなしとげ、光のごとくなんぢの義をあきらかにし、午日のごとくなんぢの訟をあきらかにしたまはん

——詩三十七篇一——六

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

獻身

金森通倫

是等の事の後神アブラハムを試みんとて之をアブラハムよと呼たまふ彼言ふ我此にあり。エホバ言たまひけるは爾の子爾の愛する獨子即ちイサクを携てモリアの地に到りわが爾に示さんとする彼所の山に於て彼を燔祭として獻ぐべし――創世記廿二〇一、二、

△アブラハム、イサクを獻ぐ

創世記廿二章に記されてある通り、神がアブラハムに向つて、爾の子獨り子卽ちイサクを獻げよと御命令になつた。こゝに言葉が四通りに重ねられてある。第一は爾の子、次に愛する子、而して獨り子、第四は爾の約束の子イサクを燔祭として獻げよといふ事であるこれは味ふて讀まなければならない處である。神がアブラハムに向つて、爾の羊、爾の牝牛を獻げよと云へば、あれ程信仰の熱いアブラハムの事故假令全部の羊牝牛なりとも喜んで獻げたであらうし、ある丈けの金銀珠玉を獻げよと云はれても、これにも直樣應じたであらう。然るに「白金も黃金も玉も何にせんに、まされる寶子にしかめやも」と云ふその子に向つて獻げよと云ふ命令が直ちに來た。しかもその子と云ふは何か、愛子である。イサクはアブラハムの百歲の子である。年老いた子は人情として最も可愛いゝものである。三段には獨り子である。たとへ愛する子にしても數多くあれば、或は一人位は獻げやうと云ふ事もある。然るに、取り換えのないその獨り子を獻げよといふ。彌よ切り込んで第四段に及んでは、イサク卽ち約束の子、外にはない約束の子を獻げよと宣ふ。その約束とは何かといふに、神がイサクによりて、爾の子孫を空の星

の如く、濱の眞砂の如く繁榮せしめて、イスラエルの地を繼がしめんと云ふのである。もし今この子を犧牲として取り去り給はゞ、この約束は無になる、一見神は矛盾した事を仰せらるゝが如くである。

△約束は新たにせらる

アブラハムは彼れ自身を祭壇に獻げよと云はるゝなら、まだ忍ぶべしであらう。然るにその愛する獨りの約束の子イサクを獻げよと云はるゝは實に無理な事で第三迄は或は忍ぶかも知れぬが、第四は誰れしも神に一言返へさねばならぬ所である。然るにアブラハムは一言も返へさず、默つてその儘受けた。無條件の絶對服從をして、その儘驢馬を用意して、柴薪をつけ、神の示し給へる山にイサクと僕とを伴つて行つた。三日目に山の麓迄來ると、僕と驢馬とを此處に止めて置いて、燔祭の柴薪はその子イサクに負はせ、自ら手に火と刀を執つて山を登り初めた。親として我が子を殺しに行く旅をどうして思ひがなからうか、二人は無言で歩んで行つた。イサクは遂に口を開いて「父よ火と柴薪とは此處に有り燔祭の羔は何處にありや」と尋ねると、アブラハムは「子よ神自ら燔祭の羔を備へたまはん」と云つて、なほも默々として歩みを續けた。やがて神の示し給へる處に至つて、アブラハムは其處に壇を築き柴薪を列べ、其の子イサクを縛つて祭壇に置せあはや刀を執つて殺さんとする刹那、天より聲あり「汝の手を童子に按るなかれ……汝の獨子を我ために惜まざれば、我今汝が神を畏るを知る」と信仰を認められ約束は新らたにせられ「汝の子孫を増して天の星の如く濱の沙の如くならしむべし。汝の子孫は其獻の門を獲ん、又汝の子孫によりて天下の民皆福祉を得べし」と祝福された。

△われ等がイサクは如何

私はこの話を讀んで獻身とは眞にかくの如きものと思つた。獻身とは何か、神に向つての無條件の絶對服從である。それに就て考へ度いことは、お互ひは神に

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

絶對服從して居るかと云ふことである。この考へを確める爲めに、各はまだイサクを惜しんで居はしないかと調らべて見たい。人によつては何をも神に獻げて惜しまないが之れ計りはと云ふものを持つて居る、獻げずに匿して居るものがある。神は犠牲を望み給ふ時、決してあなたの着物とか金とかとは申されない、直ちにイサクを獻げよと切り込まれる。そのイサクは人によつて違ふ。イエスの許に富んだ少者が訪ね來つて、永遠の生命を得るには、どうしたらばよいかと尋ねたイエスはそこで十誡を守れと云はれた。すると少者は先生それは私の幼時から守つて居る所でございます」と云はれた。イエスは「もし全からん事を欲はゞ、往て爾の所有を賣つて貧民に施し、而して來り我れに從へ」と申されたので、少者はこの言を聞いて變へ去つたとある。彼れのイサクは財產であつた。キリストはそのイサクを求め給ふたが、これを惜しんで、遂に獻げる事が出來なかつたので、キリストは「富者の神の國に入よりは、駱駝の針の孔を穿るは却て易し」と嘆息された。求めらるゝ者からはいろ〳〵の理屈がつくであらう。これは先祖代々のものであるからとか、これがなくては子孫が食ふに差支へるからとか、尤もの理由を申立てゝ、之れ計りはと惜しむのである。或る人にはまた名譽がイサクになつて居ることがある。

△獻ぐべき物と捨つべき物

虎は死して皮を殘し、人は死して名を止むと云ふ、名譽は決して惡い事はない、その名譽を獻げよと云はるゝ時に、身體はたとへ八裂きにされても、わが名譽を落すことは出來ないと惜しむ者がある。或人は地位をイサクにして居る。失職の恐れがある時は、耶蘇敎は眞平御免と云ふ、よしんば免職されぬ迄も、立身出世の妨げとなると思ふと、己の信仰を晦まして終うこの間も大學の青年會に行つて見ると、大學初まつて以來信者の學士は凡そ五千人位もあらうとの事であるこの五千人は社會の何處に光つて居るか。空の星も肉眼で見える限りは凡そ四千位であるといふが、四千も

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

あれば大空もなほ煌々として輝くではないか。三千四千の學士が日本の空に輝いたら、實に燦爛たるものであらうに、彼れ等は何處にかある、雨夜の星の如く寥々たるものである。たま〲基督者を標榜して立つて居る者があると「あの人は感心だね、行政官であつて信者であり、知事でありながらクリスチヤンだ」と云ふ。當り前の話であるがさうせぬ人が多い。かくしてイサクを匿してその地位に戀々たるのである。また或る人は安樂をイサクとして居る者がある。甚だしきは酒や煙草をイサクとして居る者がある。酒や煙草は獻ぐべきものでなくて捨つべきものである。祭壇に供へる羔の腸を捨つるが如くに捨つべきものである。今晩互の胸に手を按いて考ふる時、果して己れの心の中にはイサクを匿しては居らぬか、もし匿して居るならば此處に引き出して刄を上げて之れを殺し、神に獻げたいものである。使徒行傳五章にあるアナニヤとサピラの如くそのイサクを藏す者には、神の罰が當らざるを得ない。

△獻げて再び賜はるを待たん

我れ我れは神の前に立つて何を獻げやうか。たとへ親なりとも獻げなければならぬ。親の爲めに信仰に入らぬ人がある。私が昔基督教に入らうとした時に、親は涙を以て思ひ止まるやうにと迫つた。これを見た私は自分が八つ裂きにされても親のこの苦しみを見るに忍びないと思つた。或人は夫がイサクになつて居る。夫に背かれて信者になれぬ人がある。或人は妻がイサクになつて獻身の出來ぬ人がある。そしてこれ等には各理屈がつくであらうが、それではいかぬ。親も夫も妻も子も、財産も名譽も學問も職業も位置も悉く神に獻げよ、これを己のが手に握つて居る間は基督者ではない。一旦獻げたものを神樣がまた下されたら、頂かうではないか。其の後のイサクは更に清く更らに尊いものである。私も母が命がけで信仰に入るのを止めやうとした時、これを構はずに行へば母は苦しみ死にをするかも知れないと迄思はれたが、此處ぞと母を神に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

獻げた。然し幸にも後に神様から母を頂いた時は、前と變つて信仰の厚い美はしい尊い母であつた。獻げぬ財產や名譽は汚れて居る。故に神の前に一切のものを獻げたいものである。今晩この處に調らべて、もし我れ我れの内にイサクが生きて匿れて居はしないか、アブラハムのイサクは素直に隨いて來て、縛られて祭壇に上つたが、我れ我れのイサクはとかく逃げ匿れる。一つ探し出して獻げたいものである。先頃來東都にまた關西に協同傳道が非常な勢で行はれた。あれは半ば示威運動である。あの儘では大風の過ぎた後とのやうなものである。今後各敎會が奮勵して、信者が燃えて燃えて、あの中に燃え込んで薪を集めたやうな求道者の間に火を點じなければならぬ。

△堂を動かす懺悔の泣聲

過日私は救世軍のホッター少將に隨いて福岡に行つて集りを開いた處、大學敎授、官吏、學生等土地の中流以上の人物が皆寄つて來た。初めに少將が語り、次に私が話した。最後に悔い改めたい人を招いたが初めは一人も出て來ない。只聽衆はシーンとして身動ぎもしない。屢〻招くと一人の女が進み出て前に來るや否や倒れ伏して泣いた。續いて四五人の者が出て來て同じく倒れ伏して泣いた。私は更らに聽衆に向つて、今宵初めて神の敎へを聞いて、罪を悔いた人は左の方に、生溫の信仰を持つて居つたが、此處に更めて、も一度獻身したいと思ふ者は右の方にお出なさいと招いた處、實に右側には二百人計り、左には五十人計りがどつと出て來て倒れて泣いたので、堂内は響き渡つた見渡す限り電氣にかけられた如く、誰れ一人動く者がない。ホッター少將は私の耳元に口を寄せて、長い間英國にあつて救世軍に働らいて居つた私も、今夜のやうな凄じい泣き聲を聞いたことは無い」と申された泣き聲は益〻高つて來る計りで制しやうもない。そこで私は前の方に倒れ伏して居る一婦人に「エスよ心に宿りて」を歌つて下さいと囁くと、聲低く歌ひ出した處、自然とこれに和して漸く泣聲が納まつたので、再

び諭しの話をし、共に祈りをして歸した。女學生らしき一人はなほ起ち得ず、泣き伏して居るので、年とつた婦人に賴んで抱え起して貰つたことであつた。

△靈にも生みの苦あり

かやうな強い感動もこの儘ならば、直ぐ後とは消えて終う。敎會の信者が燃えて、何百人、何千人の改心者、求道者ありとも、信者が一人一人を訪問して、心迄燃やさなければならぬ。子供が生れる時には、母は生の苦しみをしなければならぬと同じく、人の靈の生れる時には、誰れかゞ生みの苦しみをしなければならぬ。それは當然信者の負ふべき務めである。それには信者自身が先づ聖靈と火のバプテスマを受けなければならぬ。自身が燃えずして人を燃やす事が出來やうかペンテコステの日、焰の如きものが上つた。ペテロが立つて話をすると三千の人が悔い改めて信者になつたと云ふ。聖靈と火のバプテスマを受けた者は、驚くべき働らきが出來る。これを受くるには祈らなければならぬ。聖書を讀んでも、説敎を聞いても、議論を鬪はしても到底受けられるものではない、只熱誠籠めて祈るにある。ペンテコステの日には使徒等は皆斷食して祈つた。祈りの力であれ丈けの大事が出來たのである印度の救世軍が一週間山に籠つて祈り續け、やがて山を下つて三週間に三千人を救つたと云ふ。只キリストの敎へを聞いた丈け、讀んだ丈けでは何になるか、行はなければならぬ。眞心誠意して祈る時には、必ず實行の力が與へらるゝ。「祈りてもしるしなきこそ祈りなれ祈る心のまことならねば」とある通りである。上から下迄腐つて居る。此社會を淸い淸いものとする爲めに、我れ先づ獻身してこの身を淸きものとしなければならぬ。機會は再び得られない。もし心にイサクがあれば直ちに此處で神に獻げて祈らなければならぬ。祈らなければ天來の火は受けられぬ。既に信者となつた者も獻身が鈍れて、一旦神に獻げたものをまた我儘勝手に使つて居はせぬか、かやうな人は神の物を盜む罪人である。私は講釋師では無いから此處に語ることを空しく聞き流して貰ひたくない、各の身を淸き生ける供へ物として、この堂に足をふみ入れた人は悉く獻身して貰ひたいのが願望である。（五月九日番町敎會協同傳道に於ける講演）

兒童の生活

高島平三郎

△低能兒の母より相談を受く

私が兒童の生活と云ふ題を選んだのは人格の尊重、殊に兒童の人格を尊重しなければならんと云ふ處よりである。兒童はその生活に於て感情に於て、色々異つて居る。そして人間の人格を重んずると云へばその生活感情を重んじなければならんのである。私は最近に教育ある一人の母なる人よりその子に就いて相談を受けた、その子と云ふのは所謂足りないのである。母はその子の居る前でその足りない事をとめどもなく云ふので、私は子供の前で聞き兼ね、話を止めさせたのであつた。私がその子供について色々と質問し試驗すると母なる人は侮蔑の眼をもつてその子を笑つて居つた。これが抑々いけないのであつて、かくする時にはその子は馬鹿と云ふばかりでなく、僻んだ人間となつてしまう。その子の長所を發達させるのが母たるものの任務であらうと思ふ。私の話さんとする兒童の生活は極めて一部分な事であるが又大切な事である。

△兒童の運動を尊重せよ

一體人間の生は心の奥底に物足らないと云ふ感を誰れしも持つてるもので、大きくなつては之れが煩悶ともなり、宗教的に之れを云へば罪ともなるのである。その自覺が出で來るに從つて足らざる事を益々感じて來るのである。子供の時は色々のものを欲求する。而して或は物質的に或は精神的に向ふのであるが、是れが大切なことである。兒童がその內心の要求より外にあらはるゝ一つとしては身體上の運動である。兒童の運動はこの內なる刺戟によると共に人生は又この運動の發達である。されば親たるものはその子の運動を尊

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

敬の眼をもつて見なければならん。この運動即ち馳せ廻る、木登りをすると云ふたやうな運動を止めんとする親は心なき親と云はなければならぬ。最後に此運動は勉強心ともなるのである。兒童に騷ぐな、と云ふて大きくなつて勉強家たれと云ふは無理な事である。然しかく云ふてもその自由が我儘となつては有害であるそこの調和を取つてゆくのが親たるものゝ責任である醫者は兒童に薄着させるやうにと云ふが、これを精神上から云ふなら薄着は運動を自由にすると云ふ所にあるのである。冬生れの子供は步き出すに遲いのは母がむやみやたら着せ「この中に子供ありと」札を懸けねば分らん位にまで包むからである。薄着は運動に必要なる條件である。かくの如く兒童の運動を尊重する事が必要である。

△五感の欲求

兒童にも五官があつて、これもまたそれ〱欲求を持つ。見たり聞いたり嗅いだり觸れたり味ふたりする事を欲する、即ち近頃の學者の云ふ感覺飢餓（Sense hunger）なるものが起つてくる。子供が動き出すに從つて段々働き出す。兒童は家庭に於て此の感覺飢餓を抑へられてる傾きがありはしまいか。從來の日本婦人はSense hunger を滿足させてない。見ざる、聞かざる、言はざる、庚申塚の猿のやうにしたものであるから悧巧になりやうがない。人智の進步は感覺飢餓がすゝみ好奇心が起る事によつて出來るのである。これを子供の時發達させてやる事が出來ないと馬鹿か或は經驗の少ないものとなる。海外に於ける日本婦人の恥は是に起因するものであると云ふて差支へなからう。

△注意を要する男女間の問題

然し感覺飢餓を滿足させるにも注意を要する。男女の關係に於て考ふるに、是れ等の事も家庭に於て矯めて行かなければならん問題である。私の家庭でも子供が下がかつた事を云ふ時があるが、さういう時に子供の云ふ事を決して笑ふたりはしない。笑ふ事は子供の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

好奇心を徴發させるのであつて、それによつて斯くの如き事を云ふのが平氣になる。さればそのやうな場合にはさやうな事よくないことを語り聞かせ、それと共に二度と斯かる問題の出た時には嚴肅なる態度を取つて、子供に少なからず手持ち無沙汰を感じさせ、子供自身悪い事と思ひあたらせてやめさせるのである。或る人は現代の青年は墮落してゐると云ふ、然し必ずしもそうでないと私は思ふ。私の長男は高等學校に入つてゐるが、彼が嘗て伊豆に旅行して友人等と一所に或る寺に宿つた、そこの僧侶がその青年等の中に出て來て、青年諸子を喜ばせんとして男女の色々の話をし出したと云ふ。彼れ等はそんな事を耳にした事のない青年であつたのでたまらなく感じ、一人の者は泣き出したと云ふ。かくの如く眞面目な例もあるのであるが是等はその家庭によるものである。されば兒童の好奇心と云ふものに十分な注意を拂はなければならん。而して又子供の折りに多くのものに觸れさしてやる必要がある。幼稚園は何も新しいものを敎ゆると云ふ所でなく、多くのものにふれさする所である、而して將來何れの方面にも向はれる土臺を與ふるのである。兒童にして或る限られたものゝ外は食ふ事をしないと云ふのも一つの缺陷である。あらゆるものを食ふやうにしなければならん。これが發達—研究心ともなる。日本人が西洋人——アングロサクソンを意味す——に對し劣つてる一つの點は此の研究心の少いことにある。日本人は老年になるとすぐ勉強をやめる、是れも小さい時に感覺飢餓を滿足させてやらないからであると思ふ。親が子供に玩具を與ふるにしても裝飾品として與ふると云ふ有樣であるのもその一例となる。

△自己の主張に對する加減

第三に自己主張。即ち自分の思ふやうにしやうと云ふ心、我儘となれば悪いが自己主張は大切な事であるこれを抑へたらグツ／＼の人間に爲つて終ふ。父親によらず母親の手によつて干渉せられ、敎育せられた子は弱い學問の出來ない、卑怯なビク／＼者となる。男

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

子十七、八歳になれば自己主張する男らしい氣が出來るものであるが、之れを抑へつけられた人は青い顔の人間となり果つる。勿論自己主張も道にはづれた事をやつた場合にはとめなければならん。然しその時にも止めやうがある。先づ欲求の對象を隱くしてしまう事が必要だ。而して他に心氣一轉させる工夫が大切である。又或る時は、それをしてゐると轉ぶであらう、若しむであらうと思はれるやうな場合に、その自己主張を幾分容れて傍觀し、自己主張、我儘の結果にこうなるのであると敎へ知らせる必要もある。成人して信仰ある主義ある節操ある男女をつくらうと思ふなら、小さい時にその自己主張を相當に許容してやらなければならん。新聞紙上に私共は色々の慘事を見るが、その中には自己主張の容れられない所に起因してるものがある。上が下に對する道德の少ない所より悲慘な生活を送らなければならんやうになつてる人もある。自分の主張を重んずるなら、他人の主張をも重せねばならぬ。敎育家の子に阿呆な子があるのは餘り干渉し過ぎて自己主張を容れてやらないからである。

これ等は他人に關係なく兒童に起り來る衝動、本能である。

△兒童は人から動かされ易い

第四は社會の關係上より來るもので、兒童の被暗示性に富んでゐる事である。兒童は見聞きしてるものより暗示を受けて行く極めて人から動かされやすいものである。催眠術の暗示などは恐いものであつて、子供にお前猫になつたと云ふと、猫の泣き聲を出すやうになる。これは一種の病的現象であるが、子供は親のやつてる事を見て暗示を受け易いものである。是れが又子供の敎育せられ易い所である。兒童を敎育して居つて恐ろしく感ずる事は、何時の間にか自分の行ふてる事が兒童に感化を及ぼしてゐると云ふ事で、子を持てる人は子を見ると自分の姿が寫つてるのである。東京女子高等師範學校の幼稚園の男女が或る時お母さんごつこをしやう云ふて、男の子がお父さんになり、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女の子がお母さんになり、初めの間は花を持つてお出でなどと云ふて遊んで居たが、終りになると男の子が女の子を叩く、女の子は泣くと云ふ有様、そして男の子はお父さんはお母さんを叩くもの、と云ふたと云ふ事がある。又和田垣博士の話であるが、フランスに於て父は會社に出で、母は買物に出てゐる間に兄さんと妹とが遊んでゐて、遂に妹の方が兄さんの頭にむしやくりつく、丁度そこにお母さんが歸つて來て窓から見ると中では兄と妹がその有様、驚いてその由を聞いて見ると、でもお母さんはお父さんが遲く歸るとこうするではありませんか、と云ふたとの事である。かく子供は被暗示性に富んでゐるので、今申したのは惡い事であるが、よい事でも同じである。母は自然の教育者である。

△適當に恐れさせる必要

第五恐怖、この恐怖の念を取り扱ふは中々困難な事である。兒童には適當に恐れさせる必要がある。毛蟲、芋蟲のやうなものを恐れるのは親の不注意による、何にせよ、初めに觸れる時、異樣の感のするものは氣を付けてやるやうにして、適當に恐れさせねばならん。親、天、神などを畏敬する念は大切である。アリストートルが云ふた「教育とは適當に恐れを導く事なり」と、道を畏れざる、神を畏敬せざる人の性格は立派なものと云ふ事は出來ない。有名な話であるが、日本の或る學生が獨乙に行つて、獨乙の學生が「神の外何者をも恐れない」と云ふた時に彼は「神も恐れない」と云ふたと云ふ事である。然し人間の完全なるは神を恐るゝにあると思ふ。されば尊敬すべきものゝ前に行つた時には神聖な心を導く樣にさせる必要がある。然しこの恐怖の念を間違つて働かせると畏縮したものとなる。下等社會の人は子供につまらない事を云ふて恐れさせる。「お巡りさんが來た」「おばけが出る」と云ふて恐れさせる。是れは實に有害な事である。つまらない事の爲めに恐れさせて病氣になつた子がある。夜恐症などはかくて起つた病氣である。恐怖の大切なると共

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

にその導き方に十分な注意を要する。

△大きくなりたいといふ衝動

第六兒童には大きくなり度いと云ふ衝動がある。兄や姉のある子は早く兄さんのやうに、姉さんのやうになりたいと望む。色々の動機によるのであるが、兎に角大きくなりたがる。この心は實に尊いもので、此の心が理想に憧憬する心である。キリスト教に於てキリストを標準としキリストに接近し度いと云ふのと、子供が大きくなり度いと云ふのとは同じである。親たるものはこの心を保護し發育し、理想に向ふやうにしなければならぬ。

以上の如く無閑矢鱈にやつてるその兒童の働きの中は、大きくなつて偉くなるすべての土臺があるのである。

△幼兒三十分間の運動

今左に滿二年一ケ月になる男の子が午後五時半より六時まで三十分間になした運動をあげ、如何に兒童の活動性に富めるものなるかを示さう。即ち火鉢をいじくり、机に對ひ、脊に紙をはり、姉さんの菓子をとりナイフを取り、時計を見、何かをさがし、書紙を取り、書き、おもちやを持ち出し、又兎のおもちやを出し、おもちやの籠を頭にかぶり、石を投げ、ピンをガラス戸の釘穴に差したり拔いたり、籠を持つて臺所に走りその底をとり、片手にもつて歸り、ゴムを取り、カバンを負ふて號外遊びをなし、カバンに籠の底を入れ、セルロイドのおもちやを取り出して遊び、机の前に座り、カバンと籠をもつて走り出る等であつた。是れ等の運動が増して兒童の性格を造るのである。然れば兒童の運動に考慮する所ありその敎育に注意しなければならぬ。（第二十三回婦風會大會に於ける講演）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

家事と傳道

加藤さき子

○廓清第四月號安部廓清會副會長の言論中に、廓清會の目的を遂行するには大隈内閣存續中を以て最も好期とし、而して次期總選擧迄は内閣に變動なきものと推定して、今後四ヶ年内に斷行しなければならぬ、其爲め輿論の喚起を必要とすとの御意見を拜讀して私も亦現在を以て矯風會員が其の理想を實現するに働き甲斐ある時代と思ひますが何分無力なるものとて、世を指導し輿論を沸騰せしむるやうな言說は述べる事が出來ません。それで家庭にあつて微力を盡し、幹部の外的活動と相呼應して、其の實績を擧げ度いと思ひ、甞て見聞し、且つ實驗したる二三を述べて、諸姉の批判を請ひたいと存じます。

○第一、自家の門戸内を矯風軍又は禁酒軍の城廓と心得死守の事、卽ち(イ)家族は一同禁酒禁煙斷行の事、(ロ)新聞購讀、賣藥、寄附金其他如何なる勸誘又は依賴も酒氣を帶びて或は煙草を喫しつゝ門内に入り來るものには一切應せざる事、(ハ)屑屋其他商店の御用聞き等甲乙何れを撰ぶも大なる不都合を來さゞる時は、常に禁酒禁煙の實行者を以て先優權を得せしむる事。なほ新聞購讀又は賣藥の强請に惱まるゝ諸姉は禁酒會入會申込書を用意し置かれ、交換問題に調印を要請せらるれば此等の厄介拂ひとして有効なることであります。

○第二、讀了の雜誌書類利用の事。婦人新報、國の光の如き雜誌は其の内容によりて人を選み必ず轉讀せしむる事、宅にては「ときのこゑ」の如きは九段下待合の辻待ち車夫、立ン坊等に分與いたして居り、又は市の塵埃掃除人等に趣味を感ずるものあれば遣すことあり、其れが爲め車夫より種々の便宜を得、又掃

除人夫が特別の塵埃迄運搬し與れる等の利益にも浴して居り、時には屑屋に國の光を與へて却つて先方より禁酒演說を拜聽せしめられたる事もあります。

○

第三、禁酒會の如き表札の制定あるものは必ず門口に揭ぐる事、(イ)第一に酒類の贈物を退ける事を得、(ロ)禁酒會の存在を廣告し得る、(ハ)飮酒家に警告を與へる事が出來ます。これはわが家で無言の傳道として實行し來つたもので、近隣に少なからざる反響を見出すものです。

○

第四、子供に禁酒の歌を奬勵し、可成諳誦せしむる事
實驗上飮酒家に最も深き感動を與ふる者は禁酒唱歌「あわれの孤兒」であります。特に可憐なる少女に唄はしむるときは一層感動を與へるやうです。私の隣家で學生の酒宴中にこれを試みましたに忽ち効を奏して彼れ等は宴席を家の他方に移しました。其後此れを度々繰返すにより、彼れ等は遂に其の一部を諳誦するやうになり、後遂に居を轉ずるやうになりました。

○

第五、少女の力を尊重し、利用する事、(イ)「そんな事言はないで何卒いらつしやいな」の少女の一言が私の勸誘し能はざりし某女學校長を禁酒會に誘つたことがあります。後同氏は會員となられ、三島禁酒會に多大の貢獻をせらました。(ロ)子女を慫慂して未信者のお友だちを日曜學校に誘引せしむる事は延ひて矯風會の擴張運動となりませう。本年の三月宅の女中(十六歲)は救世軍新兵として克己週間の集金を命せられ、私共の危みたるに反して彼れは期日迄に金二圓を集金し得ました。大人の爲し得ざる偉業が少女に依つて成功せらるゝを思ひ、今後大いに奬勵したいと思つて居ります。

○

以上は自分の遭遇したる一端を述べたもので何等の金錢を要せず、又努力をなさずしてなし得る所のもの

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

です。此の上尙餘力があれば、途中喫煙する學生に對して其の父兄に代つて忠告することがあります。私の理想は三島の間宮はま子刀自が其の人格により四圍を感化しつゝある無言の傳道でありますが、未だ信仰淵く其の修養に於いて大に足らざるを耻づる者です。右は兎に角何かの御參考と思ひ、列記したるにて、家事其他の都合にて外部に出でゝ運動し得ざる諸姉の御實驗に就いて更に御意見を承りたいと存じます。

雨具と寢具の改良

一郎氏夫人　葛蔭すう子

△雨具の工夫

日本のやうに雨の多い國で完全な雨具の無いことは誠に不便なことであります。殊に昨今電車も出來、婦人の外出も多くなつて參りますと、雨降りだからと申して、終日家に籠つて居る譯には參りません。私は五人の子供を學校に通はせます頃から、どうも雨具の無い不便を感じて居りましたので、十四五年前合羽を工夫して特許を出願致しましたが、類似のものがあるとか申して、その儘になつて終ひました。

その後家事に紛れて、一向に工夫も致しませんが、

私の考へますのには從來の合羽に足駄では、裾と足袋との間が汚れて、他所樣に上つてその儘座布團に坐ることも出來ませぬ。そして濡れますのは重に下半身ですから、下に袴のやうなものを穿き、足駄の方は爪革を下駄の周圍一パイにつけ、後ろに足袋のやうに鞐をつけ、踝の少し上に、小供の履のバンドのやうなもので締めて置きますと、もし鼻緒が切れた場合にも便利であらうと思はれます。足駄の齒は日和下駄位に低くしたらよいと思ひます。まだ見本を作つて、試みた譯ではありませんから、使つて見たらいろ／＼改良しなければならぬ點も出て參りませうが、心ある方々が御工夫下さる參考ともならば幸と存じます。

△仕立易い夜着

寢具も今迄のやうなものでは、取扱ひにいかにも不便なので、自然不潔になり勝ちになります。それで極く仕立易く、着心地もよい樣にと存じ、四の布團ならば前丈け五寸下げて縫ひ、五つのや三のならば眞中の一と布だけを五寸下げて縫ひます。つまりその下がつた處に頸が入りますので、肩が寒くなくてよろしうございます。宅では女中達には三のを眞中一と布だけ下げて縫つたものに薄く綿を入れて肌着に着せ、その上に掛布團を掛させ、その肌着は一年に一度位は洗濯致させますが、仕立が樂ですから臆劫にも思へません。

　なほ搔巻ならば、襟肩を四寸あけて、凡て一パイに縫ひ、衽をつけずに仕立てます。

或る日の夕餐

木村龜井子

△ビーフテーキ　牛肉五十目を切らずに取り、筋が横にならぬやう竪に二分程の厚さに切り、摺りこぎでよく叩く。(冬ならば夕の食事の爲めに朝より叩きおくもよく、可成前より用意して置く方よろし)此の肉を普通の魚燒網にのせ、火はなるべく強くして、油が立てば傍らよりあをぎ、二十五六回引繰り返へして燒き、直に皿に鹽をふり置き、其の中へうつし、バタを兩面に塗り、胡椒を振り掛ける。附合はせとして、馬鈴薯を皮をむき、半分に切りて茹で、湯が沸立つた時に鹽を入れて茹で上れば湯をこぼして其の儘鍋に入れ置きて乾す。

　莢豌豆を竪に二つに切りて茹る。此の際少しソーダを入るれば靑々として美し。次に湯をこぼして熱い中に小匙一杯のバタを入れ、火にかけ、牛乳少々と鹽小匙輕く一杯を入れ、よくかきまぜて右三種のものを皿に盛りて出す。

△ハツシユ　比目魚の肉四分の一を細かく切り、鹽を少し振りかける。但し牛肉なれば決して鹽はせぬ。魚肉にバタ小匙一杯玉葱半分を卸し込み、別に馬鈴薯を二個丸ごと半茹でになし、之を細の目に切り、肉とよくまぜる。フライ鍋にバタ大匙一杯程入れて、右のものをフライする。

△ドーナツツ　メリケン粉コツプ山盛二杯にベーキングパウダー小匙輕く一杯をまぜ、裏漉になし置き、別に砂糖を同じコツプに八分目、玉子一個の黄身丈け入れ、バタを小匙山盛一杯を混じ、よく〳〵かきまぜてより牛乳五勺を入れる。香料二三滴を落して其の器へ先の粉を少しづゝ入れてまぜる。のし板にのし棒にて之を平らになし、型で拔きフライ鍋にヘツトをひた〳〵より少し多い目に入れて揚げる。油くさくなる故一度より返へさぬやう注意する事。皿に紙を敷き置き出來上つたものを其處にうつして砂糖を振り掛くるもよろし。

大正三年度各支部報告一覽

（自大正三年七月至大正四年二月）

名稱	所在地	役員 會頭氏名	役員 書記氏名	役員 會計氏名	會員 新入數	會員 現在數	活動事項 例會度數	活動事項 公會度數	活動事項 新報購讀者數	活動事項 設ある課	活動事項 成功せる課
大阪	北區中之島六の六	林うた	淸水たれ	安藤しむ	六七	三六〇	六	一	三〇	傳道、風俗、母、軍人、花、交際、敎育少年、安息日	花
神戸	中山手通七丁目一一四	渡邊つれ	城のぶ	大石龜代	二〇	三〇	六	四	四四	敎育、花、母、風俗、禁酒禁煙、軍人、動物、傳道	敎育 傳道
在日本西洋婦人	靑山南町 靑山女學院	スペンサー	ピンセント	マクドナルド		三三				風俗、花、母、工女、動物、傳道、安息、文書、衛生	風俗 動物
東京麴町	赤坂、溜池三 事務所	矢島楫	奥山有志	川崎まさ	一五	一二五	七			衛生、工女、敎育、花、母、法律	法律
京都	今出川通 同志社女學校	宮森ゆか	中瀬古絹	水崎しげ	三三	二三	七	四	二三	法律、敎育、母、少年、風俗、花、	
札幌	大通西六丁目	辻秀	海老澤まさ	子野田つや		六五	六		一九	敎育、花、母、傳道	花
靜岡	西草深町 英和女學校	梅澤らく	齋藤うめ	原崎とく	五	五五	五		一五	花、母、風俗、傳道、衛生	花
東京芝	三田四國町十五 根本方	非深花	杉本鈍	根本とく	六	五三	三		五四	禁酒禁煙	禁酒禁煙
横濱	尾上町六丁目 指路敎會	二宮わか	大橋しげ	石川ゆき	一	五八	七	一	四〇	母、花	
山梨	櫻町 キリスト敎會	アルコーン	渡邊しげ	林ともゑ		五〇	七	一五	三		
水戸	上市備前町二六 ピンフオード	ピンフオールド	鈴木すゞ	加藤木ふき	三	四八	一〇	九	七	敎育、法律、花、母、衛生	

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

東京小石川	小石川區植ケ谷町八四福音敎會	パンフハインド	高木しづ	内ケ崎きよ	二四	四六	五	一	二六	花、
長崎	長崎市青年會館	ツルーマン	奥きく	渡邊とせ	一〇	四五	七	二		母、花、文書、交際	花
神田	神田區末廣町二五キリスト敎會	小宮たま	北村千代	荻原五百枝		四三	三		二六	衛生、母、花
弘前	弘前市元寺町	高谷とく	高杉つる	古田ふみ	五	四三	九	一	八	母、少年、花、交際、法律	少年、母
呉	清水通一七六海軍軍人ホーム	十時きく		宮本京	九	四〇	四	一	二	母、敎育	敎育
若松（筑前）	土居町五五原方	三輪いし	藤田八千代	近藤えつ	六	三六	二		七	法律、傳道、母、安息日敎育	敎育（女中會）
前橋（上州）	北曲輪町キリスト敎會内	ペットレー	青柳みや	柴田とよ	二	三三	七	三	一四	花
原市（上州）	原市町キリスト敎會	太田すて	半田まつ	半田たま		三三	五	三	一	
高崎（上州）	宮元町キリスト敎會	星野きよ	福田あい		三	三	三		五	花、傳道、敎育、軍人、衛生
東京赤坂	青山南町青山女學院	山東たい	同上	和田たか	二	二〇	一		三四	安息日
相州	鎌倉八幡前清水方	清水ふき	同上	同上	二	二九				母、軍人	母
金澤	下本多町幼稚園内	堂本ます	山口ときわ	後藤なをみ	五	二九				風俗	風俗
鹿兒島	山下町三三キリスト敎會	椰原小義	小川よれ	波江野ちか		二六			九	花、母、敎育、少年、禁煙禁酒
堺	大町東一丁目二五萬代方	萬代要	岡村秀	三宅りき	二	三	五		八	傳道、交際、花、風俗、母、少年

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

岡山	東中山下町組合教會内	坂本つる	山本カメナ	廣岡トモ	二	一九	二	二	二	風俗、交際、花	
宇都宮	二條町七番地二號	フライ	大谷マキ	淺田たへ	八	一九	一二		二	母、花、少年、文書、法律	母、少年
安中（上州）	安中町柏木方	柏木かや		湯淺とみ	二	一八	二	一			
旭川	四條通八丁目青年會館	星野かま		綱島ひろせ	四	一八	四			花、教育	
富岡（上州）	北甘樂郡富岡町八八金澤方	金澤なを	中島せん	同上		一六	七	一	一	傳道、安息日	安息日
彦根	芹橋武田方	武田よし				一六	五	二	一		
東京（牛込）	早稻田鶴卷町二六六	寺澤みか	松宮しん	本多ひろな	三	三	一〇				
佐賀	米屋町一八一	和佐咲	平山千代	服部つる	八	三			五	母、傳道	
藤岡（上州）	藤岡町綠野教會	太戸きし	高津つる	栗原たか	二	一〇	三		五	法律、傳道、衞生、	

外に北海道留萌、和歌山御坊、熊本、松山、下ノ關、仙臺、盛岡、あり。

225

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

各地通信

本部

五月三日午後二時より事務所に於て常置員會及び市内各支部の役員會を開く、矢島會頭の司會にて杉本鉞子氏より大會決議文に關し大隈伯を訪問せし報告あり、次に左の件を議決す。

△決議文印刷に關しては廓清會理事益富政助氏に委任する事。

△御即位式に際し矯風會は京都市に於て具體的の運動を開始する事。

△具體的運動の一歩として本部及京都支部は大隈伯の祝辭及決議文を印刷して各支部に廻送すると同時に御大典に際し、本會の運動を助くるため會員を募集する事。

△右御即位式に對する件につきては左の委員に附托する事。

青年部々長杉本鉞、少年部々長守屋東、教育課副課長飯田孝、傳道課長古田とみ、通信書記藤井孝。

△風俗課長名出亞子氏に本年は特に御盡力を願ふため常置員會より手紙を送る事。

△大會決議文に關し、東京市内各新聞社の社會部々長及婦人記者を招待する件は交際課長杉本鉞子氏を委員長に願ふ事。

△年中行事中本月は母の課に相當すれども特に來九月の親睦會と變更して、來る二十二日東京市内聯合親睦會を開く事、之に關する委員を左の諸氏に依頼す。

守屋東、粟屋榮、岩村やす、飯田孝、川崎まさ。

△エリス氏御歸米につき送別會の事につきてはスペンサー氏を委員長とし、日本側よりは委員として、杉本鉞子、古田とみ子氏を願ふ事。

△婦人ホームに關しては更に委員を繼續する事

矢島、小崎千代、川崎まさ、松宮しん、守屋東、小橋三四、藤井孝。

△英國皇帝陛下　及全國藏相に禁酒に關して感謝狀を出す事を杉本氏に依頼する事。

△櫻踊の記事につきては廓清會に依頼する事。

△守屋氏提出の甲府禁酒會に祝辭を出す事につきては矢島會頭の御自筆にて願ふ事。

當日の出席者は矢島、杉本、小崎、スペンサー、根本、守屋、古田、飯田、粟屋、岩村、藤井、外に皆川、大藤、川崎の諸氏なり。

麴町

五月十二日(月)午後一時より事務所にて例會を開く、矢島支部長の司會にて本部事務所敷地のために出すべき金額につきて相當の結果三百圓を支出する事となし、其方法につきては種々意見もありたれど左の諸氏を選び之に一任する事となせり。

委員長川崎まさ、委員佐相うの、高垣梅、樋口、加藤咲。

次に松宮しん子氏の御好意により「キャラメル」の製法を研究して散會したり。

小石川

五月一日指ケ谷町八十四、福音教會内にて例會を開く、パンフハインド會長の司會にて原田氏聖書哥林多前書十三章を朗讀せられ、書記及會計の報告あり、次で田山夫人、沖田、石原諸氏より四月上旬京都に於ける大會の模様につきて報告及び感話ありたり。來會者三十五名、新入者二名。(書記萬木しづ子)

神戸

四月廿四日午後二時メソヂスト教會に於て例會を開く、本月は花の課と傳道課に當りしを以て、傳道課長城ふ子司會し、花の課長井上氏祈禱を捧ぐ。城氏は第十七回年會の記錄を讀み、渡邊會長は大會の報告をなし、メソヂスト教會牧師の適切なる奬勵あり、會員を奮起せしめたり。新入會員四名、集會者四十八名、各自會員の責任を覺り、會の發展のため盡さん事を祈りたり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

五月三日家庭塾にて午後一時より役員會を開き、大會後運動の方針其他本部地所買入豫約金百圓を募集する方法の如何を相談し、互に意見を交換し、何れも一致して盡力する事を約したり。(書記城のぶ子)

下ノ關

四月十七日梅光女學院にて例會を開く當日は雨天にも不拘學校生徒を除き十八名の出席者を得て會員一同感謝したり。弘中氏の司會にて同校教諭として新任せられし山崎又雄先生より人體模型につきて生理上の講演あり、多大の興味を與へられたり。(書記黑木ます子)

京都

四月廿七日假事務所に於て年會及大會報告會を開く、富森支部長の司會にて協同傳道のため特に廓清大會の爲に祈禱會をなす。次に湯淺氏の司會にて中瀬古氏より綿密なる大會の報告あり、一同承認す。續いて風俗課富森氏、花の課長安氏、會計水崎氏、通信書記及新入會員係三浦氏の報告は皆承諾となり、左の件を議決す。

一、役員改選は御大典の終る迄延期する事。

一、本部事務所敷地のため金二百圓を集金する事。
方法は決議文實行委員に一任する事。

一、大會に於て編成されたる決議文に對する實行委員十名を擧げ、役員會にて選擧する事。

一、集會委員三名を置く事。

一、本會に左の課を置き各課の働を盛んにする事。
風俗課(救濟課)教育課、母の課、花の課、交際、衞生課、禁酒禁煙課、安息日課、傳道課。

外に社會時事問題研究員及勸誘員を置く事。出席者二十五名。

五月二日決議文實行委員會を委員長原田氏宅に開く、近頃の風說なる桑博に櫻踊出演の件事實取調の必要ありとてそれ〳〵取調方を相談す

御大典に際し矯風會は地方より參拜者の爲休憩所の如きものを設けて案內、接待等をなす事につき廓清會と協力する事。

同志社青年

四月十八日同志社女學校に於て大會報告を兼たる例會を開く、吉村氏の司會にて、矢島會頭及杉本部長に謝狀を送る事に決し、杉田氏は年表記によりて青年部の說明をせられたる後司會者は矢島會頭よりの謝狀を朗讀す。杉田氏は再び大會の模樣につき概略を述べらる。當日議決せし事左の如し

一、動物優待課を設置する事。

一、例會を日曜日午後一時半より三時迄となす事。
及び例會に獻金をなす事。

次に福地氏を會計に選擧し會を閉づ。

フレンド青年

例年よりも遲ればせなる花も昨日今日ほころびそめし卯月のはじめ西京に開かれました矯風會大會に列席し、老會頭其他熱心なる七十餘名の代員の方々に接し、會員の皆樣の御熱心なる御働ぶりを拜見致しましてかよわい私共青年部も、この有力なる矯風會の小一枝であつた事を悟り、云ひ知れぬ嬉しさと興味とを感じたのでございます。

大會の時皆樣より花の樣だと申されました私共青年部もまだ花とまでは成長せぬ蕾かも知れませんが、尙ほ一層勵んで、時なり〳〵の雨風をも忍び、やがて皆樣の驚き遊ばさるゝ程美しい花と咲き又實をも結び、さては世の中の人々の前に青年部の旗を高く打ち揚げて、多くの人にこの善き業を擴めたいと望んで居ります。

婦人新報代金領收

一金七十錢　柴田たつ
一金五圓六十錢(三月迄)　赤坂矯風會
一金二圓十錢(四年三月迄)　札幌矯風會
一金七十錢(五年二月迄)　下村きよ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

一金三十五錢(四年六月迄)　山田富江
一金三十五錢(同)　林野やう
一金十八錢(四年三月迄)　山田つや
一金十八錢(同)　小倉千代
一金一圓五錢(四年六月迄)　油布とく
一金一圓五十錢(四年八月迄)　松村ナホ
一金二十一圓(四年三月迄)　京都矯風會
一金八十二錢(四年八月迄)　近藤えつ
一金七十五錢(四年十二月迄)　ホイキー夫人
一金七十錢(五年三月迄)　中島せん
一金一圓(二十部代)　渡邊つれ
一金五十四錢(四年十二月迄)　元野たつ
一金七十錢(五年二月迄)　伊藤しづ
一金三圓八十五錢(五月迄)　堺矯風會
一金一圓四十錢(四年二月迄)　押川夫人
一金二圓(寄附)　山崎喜多次
一金二圓(四年十二月迄)　石神八軍
一金十二圓二十五錢(二百十三號)大阪矯風會
一金十一圓五十錢(二百十四號)　同
一金二圓八十錢(五年三月迄)　下ノ關矯風會
一金七十錢(四年四月迄)　山本秀
一金七十錢(五年三月迄)　坂木楠力
一金三十五錢(四年六月迄)　酒井きち
一金十二圓十八錢(四年六月迄)在米　宮崎しま

編輯室より

エー、エム。

▲編輯室から眺めた三年坂は綠陰心地よき櫻並樹の間を大公使通ひの自動車馬車が元氣よく往來してゐます。協同傳道に續きて天幕傳道は近くの衆議院横手で毎夜千數百人を集め、火の如き熱舌を以て木村牧師が傳道されました結果千數百の改心者を十七日間に捧げられました。

▲四月廿五日は日比谷公園に於て日曜學校の生徒大會が開催され、一萬有餘の少年少女の大集會が開かれました。新聞傳道は毎朝早天祈禱會後數百の信者によつて行はれ、最後の四月卅日は十四新聞に基督教の綱領として植村、小崎兩牧師の說教が三段に渡つて記載されたものを私なども配付して步きました。

▲五月十四日には市内の新聞雜誌記者諸氏を招待して、本會の大會に於ける決議文の披露をいたし、其の應援を願ひました。婦人記者のみにても十四名も參られました。かゝる事は實にめづらしき事でありましたので早速一同の賛成を得て事務所に婦人記者俱樂部を組織し、毎月五日に集會する事に決定致しました。

▲夜學の主任であつた近藤姉は御結婚なさるにつき、事務所を出られました。夜學の方は戸川秀子姉の令妹女子學院出身の横倉房子姉主任として引きつゞき授業をいたして居られます。適任者を失ひて今また適任者を與へられて只々感謝にたへません。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

of this, as this part of the work belongs to the Kyoto branch; but all the Unions, and also all outside persons who are interested in the good work, are requested to help. Larger funds will carry greater work.

The work of the W. C. T. U. for the Coronation is two-fold—preventive and saving. By circulating the copies of Count Okuma's letter expressing hearty approval of the plans, together with the two resolutions adopted in April, we hope to arouse the interest of many who have been hitherto indifferent.

Perhaps it will be well to repeat the gist of the resolutions;

1st—All members pledged themselves to use every possible influence to have women of doubtful character kept in the background during the approaching Coronation festivities.

2nd—The decision to appeal to Parliament for the total abolition of the brothel system by the end of six years.

Our prayer is that we may be able to offer to our beloved nation, this great reform, as a white memorial in honor of the coronation of Japan's 122th Emperor.

Etsu Sugimoto.

The admiration and respect of the entire W. C. T. U. for the Hon. Sho Nemoto, is well known. His untiring efforts for the good of the youth of Japan, with its far-reaching effect on our country's future, cannot be praised too highly. The wife who so worthily stands beside him, has given a fresh proof of her devotion to the cause which so greatly interests them both. She has pledged herself to present to the Headquarters Land Fund, on the 9th of September, the sum of 250 yen; an amount which she had set aside for the celebration of her Silver Wedding, which was to have taken place on that date. We accept the sacrifice—and its lesson—and bow our thanks.

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

personal interview with their several authorities, and ask them to join with the members of the W.C.T.U. to influence each local place to observe the Coronation festivities in a manner suitable to the dignity of the augustus occasion.

While all the towns and cities throughout Japan, including her territorial possessions, will held festivities for the grand occasion, of course Kyoto will be the center of the celebration. Three days only Their August Majesties will grace the occasion, but forty nights will not be too long an estimation for the season of gayety. For the first time in the history of Japan, the old Imperial Palace of Kyoto will be thrown open to all subjects. For common eyes to be allowed a glimpse of the mysterious "Great Inside" is a very wonderful thing, and will be reverently appreciated by the Japanese people. The city will be thronged with country pilgrims. Also every institution and organization connected with the numberless historic Buddhist temples, will be prepared to display their priceless treasures, and offer every attraction to the visiting millions. With the city filled with strangers, all eager to see the unusual and interesting sights, every day will find many weary wanderers on the crowded streets. It is to be expected that shrewd money-makers, anticipating this, will have many convenient places for rest and amusement; and here all kinds of drinks will be attractively displayed and cheaply sold.

The Union believes that the masses must be protected, and so the W. C. T. U. has planned to have a spacious tent where the tired may rest and be served with all sorts of refreshing, non-alcoholic drinks.

The Kyoto Union is ready to bear the larger part of the expense

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

vention is pledged.

The Kyoto Union welcomed us with the aim of preparing for the coming Coronation, which will be held in that historical Capital. As the ceremony is of such a dignified manner, but there is one great obstacle to fight against. Custom has been such that, on similar occasions in the past, there has been much drinking in connection with the gayeties, and geisha girls have taken an important part in all public functions. The Japan Union strongly believes that in this progressive age, these customs should be changed to pleasures of a higher character, and for this it is working.

This year of Taisho 4, seems to be a specially fortunate time for a reform wedge to be driven, for, with our much esteemed Count Okuma—whose influence and sympathy we have—in the Premier's chair, and with the Honorable Mr. Saburo Shimada—President of our Kakusei, (Purity Society,)—having been elected to the high position of President to the House of Commons, we certainly should be able to accomplish more among the uninterested masses than we could, without the support of these noted names.

Miss Hayashi, the President of the Osaka Union, together with the writer of this article, representing the Executive Board, had a friendly interview with Count Okuma, and gained permission from him, personally, to make public his written Shikuji, (Congratulation letter,) to the late Convention. The words of this letter most strangely coincided with two important resolutions of of the Convention, and a copy of it, with the resolutions, are now on their way toward the municipal authorities of each town and city where there is a Union. The officers of each Union will have a

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

WOMAN'S HERALD.
(*Fujinshimpo*)

WORK FOR THE APPROACHING CORONATION.

The effect of the active 23rd Convention, is still keeping all the White Ribboners in the land, very busy. The Executive Board, especially, is doing its best to keep the interest of the local branches from waning. These branches are scattered everywhere throughout the land, some of them in remote villages in the interior. It is difficult for them to keep enthusiastically in touch with the general interest of the Union, and yet, some of our best work comes from these associations. As a single spark of fire may cause a conflagration, so a little band of workers sometimes kindles a strong fire of enthusiasm in an unexpected place, with a following result of great good.

Recently, Madam Yajima and her Secretary, Mrs Fujii, organized a Union in Goi, a small farming village in Chiba Prefecture. The village is several miles from the reach of a railway, or any other regular communication with the world, The band is small, but it is headed by a sewing teacher of the village, who, while studying in Tokyo, was a member of a city Union, and her interest and enthusiasm has been the cause of spreading great good in all the surrounding country. In order to help these remote bands, the Headquarters has a heavy responsibility, and it keeps every member of the Executive busy all her spare time. This year, more than ever before, their interest must not be allowed to flag, for we require every atom of help each one can give, to be able to carry out the object for which the 23rd Con-

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

院長診察月、水、木、金、午前
林、峰間兩副長は目下當院に在勤
麹町區三番町三十番地(市ケ谷見附内)
電、番六二番

東洋内科醫院

院長 醫學士 高田畊安

電話ちがさき二番

南湖院

相州茅ケ崎海濱(從停車場半里)
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察土曜日午後、入院診察後應需

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

赤ん坊の柔かい皮膚を洗ふには、——

ライオン化粧石鹼に限ります。

御婦人の美しい肌を淨めるには——